

# 1月11日（月・成人の日） 知事会見

- I 上田圏域、諏訪圏域に「特別警報Ⅰ」を発出
- II 佐久圏域の1市2町（佐久市、御代田町、  
軽井沢町）に「特別警報Ⅱ」を発出
- III 現在の状況認識
- IV 県民の皆様へのお願い

**上田圏域、諏訪圏域**の

感染警戒レベルを「**レベル 4**」に引き上げ

**「特別警報 I」**を発出します

# I 上田圏域、諏訪圏域に「特別警報 I」を発出

## 1 直近1週間の新規陽性者数の状況

(人)

		1/4 (月)	1/5 (火)	1/6 (水)	1/7 (木)	1/8 (金)	1/9 (土)	1/10 (日)
上田 圏域	陽性者 数 累計	18	17	20	26	34	38	42
	人口 10万人 当たり 累計	9.37	8.85	10.41	13.53	17.70	19.78	21.87
諏訪 圏域	陽性者 数 累計	4	5	10	22	22	31	34
	人口 10万人 当たり 累計	2.08	2.60	5.20	11.44	11.44	16.13	17.69

# I 上田圏域、諏訪圏域に「特別警報 I」を発出

## 2 上田、諏訪2圏域における対策

(県民の皆様へのお願い)

- ① 高齢者や基礎疾患のある方へ感染リスクの高い行動の自粛を要請（同居の家族にも慎重な行動をお願い）
- ② 感染拡大地域への不要不急の訪問の自粛を要請
- ③ 会食における基本的な感染防止対策の徹底について協力を要請

(事業者の皆様へのお願い)

- ④ 感染拡大予防ガイドラインの遵守について協力を要請
- ⑤ 職場における感染防止対策の徹底をお願い

(クラスター対策の徹底)

- ⑥ クラスター対策をさらに徹底

**佐久市、御代田町、軽井沢町**

の感染警戒レベルを「**レベル5**」に引き上げ

**「特別警報Ⅱ」**を発出します。

## Ⅱ 佐久圏域の1市2町に「特別警報Ⅱ」を発出

### 1 1市2町のレベル上げの理由

#### (1) 新規陽性者数に歯止めがかからず、リスクの高い事例も見られる。

- ・ 圏域全体の1週間当たりの新規陽性者数：76.61人  
(1/4～1/10)
- ・ 医療施設：7人、高齢者施設：1人、会食：12人  
(1市2町のデータ)

#### (2) 医療提供体制の逼迫

- ・ 受入可能病床数に対する入院者の割合が約8割超
- ・ 圏域外の医療機関に13人を搬送

## Ⅱ 佐久圏域の1市2町に「特別警報Ⅱ」を発出

### 2-1 1市2町と連携した対策の強化

#### その1

(県民及び来訪者への協力要請)

- ① 高齢者や基礎疾患のある方に不要不急の外出の自粛について協力を要請（同居の方にも慎重な行動をお願い）
- ② 大人数・長時間の会食の自粛について協力を要請
- ③ 一都三県等感染拡大地域への訪問の自粛について協力を要請

(イベント等の慎重な検討)

- ④ 大人数が集まるイベント等の実施に係る慎重な検討について協力を要請

(①、②、③、④：特措法第24条第9項に基づく措置)

## Ⅱ 佐久圏域の1市2町に「特別警報Ⅱ」を発出

### 2-2 1市2町と連携した対策の強化

#### その2

(公共施設の休止等の検討)

- ⑤ 県の公共施設について休止等の措置を検討、1市2町に対しても検討を要請

(積極的な検査の実施)

- ⑥ 接触者に対する検査を幅広く実施。必要が生じた場合は高齢者施設等に対し集中的な検査を実施

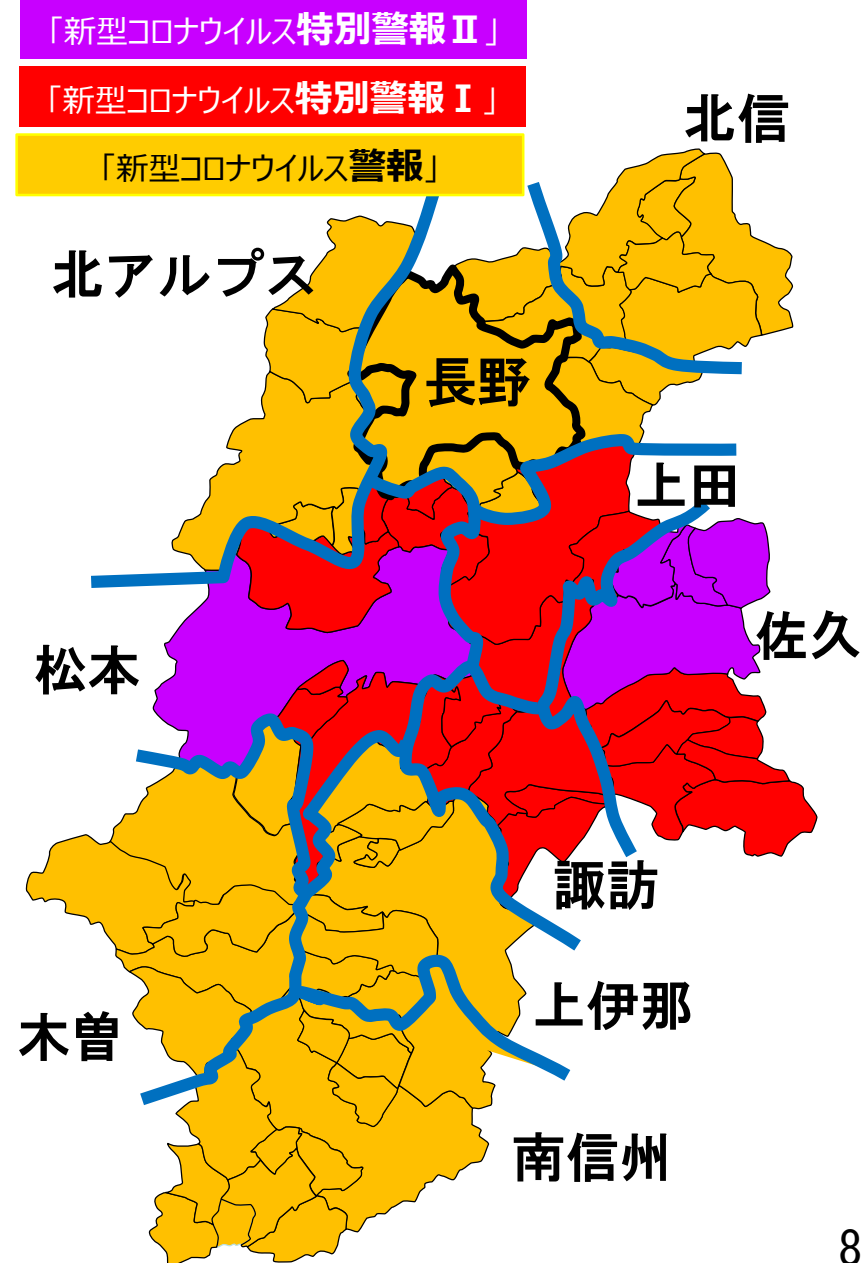
(在宅勤務・テレワークの徹底)

- ⑦ 事業所に対して、在宅勤務・テレワークの徹底を要請



# <参考> 「特別警報Ⅱ」、「特別警報Ⅰ」の発出地域

圏域	新規感染 確認者数 (1/4~1/10)	圏域人口10万人 あたりの 新規感染者数
佐久	157	76.61
上田	42	21.87
諏訪	34	17.69
上伊那	16	8.90
南信州	16	10.36
木曾	0	—
松本	117	27.77
北アルプス	13	23.08
長野	25	4.73
北信	2	2.43
全県	422	20.71



1/4~1/10 直近1週間・感染確定日ベース

### Ⅲ 現在の状況認識

#### 1 新規陽性者が急速に増加

○ 直近1週間で(1/4~1/10)422人

(その前の1週間(12/28~1/3)は130人)

→ わずか1週間で約3.2倍に増加

○ その結果、療養者数も増加

	1/10(日)	12/31(木)
療養者数	429人	151人
入院	212人	108人
宿泊療養施設	123人	30人
自宅	74人	13人
その他調整中	20人	0人

## 2 考えられる要因

○ 年末年始、普段とは違う交流が起こった。

- 大都市の往来、帰省等。
- 新年会等の会食、行事。

→ 家庭内感染につながり、更に感染が拡大。

## 3 新規陽性者の特徴

○ **50代以下の働き盛り世代や若者が大多数。**

(直近1週間では約3／4)

○ **無症状者が多く存在。**

(昨日公表分の1／4が無症状病原体保有者)

## 4 まとめ

- 年末年始の人の動きにより、県内でも感染リスクが急速に高まっている。
- 感染しているが、無症状の方が一定程度存在している。
- 医療の負荷が増大しており、早急に新規陽性者数を減少に転じさせる必要がある。
  - 救える命を救えなくなる恐れがある。（コロナ以外も含めて。）
- 一都三県での緊急事態措置の効果に疑問が呈されている。
  - 外出自粛は20時以降だけが強調されている。など（実効性を上げるため全国での協力が不可欠。）

## 現在 **医療警報** 発出中

→ 深刻な事態になりつつある。

命を暮らしを守るため、できることをみんなで徹底的に。

○ 警報発出中は、特に次の2点について最大限の協力をお願い。

1 人と接する機会を減らし、マスク着用、手指消毒の徹底を  
(特に高齢者等)

→ できるだけ外出しない、密閉・密集・密接を避ける、など。

2 他人に感染させない行動を。(無症状でも。)

→ 体調が悪い(悪かった)方はもとより、無症状の人に対しても、自分が感染している前提での行動をお願い。

次の皆様には、「人に移さない」、「症状があればすぐ相談」など、特にお願ひ。

- 1 特別警報Ⅰ、特別警報Ⅱの発出地域にお住まいの方
- 2 年末年始に大人数での会食、他都道府県との往来、帰省の受け入れ等を行った方
- 3 若者や働き盛り世代の方  
→ ご家庭等で高齢者等に感染が広がらないように